

私たちは、生まれた時から " マジョリティ " だったのか？

てらお さとし

寺尾 智史 (宮崎大学語学教育センター准教授)



縁^{えん}あって、アジア、ヨーロッパ、中南米、アフリカと、世界各地で「国語ではないことば」の話者たちによりそってきましたが、その中で考えるようになったことは、「すべての人間は、マイノリティとして生まれてくるのではないか」、ということです。

マイノリティの「反対語」・「対義語」は、「マジョリティ」でしょう。外来語を避けて言うなら、「少数派」と「多数派」でしょうか……。では、「マジョリティ」、「多数派」ってなんなのでしょう？ いったい、だれなのでしょう？

あなたが、もし、あなたが何者か、だれからも教えてもらっていなかったとしたら、あなたは、たとえば、「神戸っ子」でもないし、「関西人」でもないし、「日本人」でもないし、「アジア人」でもないでしょう。自分が「神戸っ子」で、「関西人」で、「日本人」で、「アジア人」だと思っているのは、だれかからそれを教えられ、そしてそれに納得しているからです。そのタイミングは、ひょっとして物心つく前かもしれませんから、あたりまえだ、と思っているかもしれませんが。

私の通ったフィールドの多くは、この「あたりまえ」がないか、ほんの少し前までなかった場所でした。

もちろん、今ではどこかの国の一部になっているのですが、国の中心、首都から、遠く遠くはなれた、「辺境」とされるような位置にあって、山ひだ深く、外界と仕切られ孤立したようなところが多く、つい最近まで、あまり外の世界を意識しないで生き、自分もまわりも「われわれはだれか？」「あなたはだれか？」という問いかけや自問をすることなく、ましてや「国民」として義務教育を受けることもなかった場所です。だから、ユニホームのようなおし着せの「国語」ではなく、そこで話されていることばが残ったわけです。

当然、そこでは、「帰属意識」つまり、「自分はどこかに属しているんだ」という実感は薄く、だれかとだれかが会ったら、「あなたとわたしとは、顔が違うし、全く同じではないということはわかる」という世界です。

こうしたフィールドに身を置いていると、次第にわかってきたことがあります。

実は、「もともと多数派」なんてありえず、結局、「私は多数派だ！、マジョリティだ！」と思うということは、「多数派であることに身を置く、身をゆだねる」ということに他ならない、ということです。

今、「世の中」は、「問題」でごったがえしています。それをことさら煽り立てるインターネット情報であふれかえっています。しかし、それは、「だれにとっての」問題なのかを、冷静に見つめる必要があります。もしそれが、マジョリティに身をゆだね、そして「マジョリティは全員、こう思っているのだ」という、集団心理によるなせるわざである場合、大いに注意が必要です。本当に「あなたにとっての」問題なのでしょうか？ 「わたしはマイノリティとして生まれたんだ」という自負は、ふと「われにかえる」ために根源的な手がかりを与えてくれるのです。

寺尾智史『言語多様性の継承は可能か—新版—欧州周縁の言語マイノリティと東アジア』(彩流社刊、2017年8月)

画一化、総マジョリティ化する世界の中で、ことばの多様性を子どもたちに引き継ぐことはできるのか？ヨーロッパ、中南米、東アジア(中国南部の温州など)、そして故郷の播州をめぐる、地元ことばの未来を考える。ISBN978-4-7791-2219-4
<http://www.sairyusha.co.jp/bd/isbn978-4-7791-2219-4.html>

YMCA・YWCA 合同祈禱週

2017年11月12日(日)～18日(土)

テーマ 「立ち上がり、声を届けよう—
抑圧や差別におかれた人々の声」

神戸YMCA/YWCA 合同礼拝

11月14日(火) 9:00～10:00

奨励 ジェフリー・メンセンディークさん

(関西学院大学大学院神学科准教授)

場所 神戸YWCA会館5階チャペル

静まりのとき 11月13日(月)～18日(土)

ともに冊子を読みながら黙想します。

毎日 12:30～13:00 場所 神戸YWCA会館6階

神戸YWCAの夏 2017



勉強に役立つ日本語

勉強に役立つ日本語

日本語コースでは、今年も夏休みの3週間に「勉強に役立つ日本語クラス」を実施した。13人（7国籍）の子どもたちが集い、日本語のレベルに応じて2クラスを設定し、授業を行った。今年は渡日してから間もない子どもが多く、子どもたちは基礎的な日本語習得に熱心に取り組み、力を伸ばした。

また、日本語の勉強だけでなく、同じ境遇の子どもたちが共に時を過ごすことで、子どもたちにとってよい居場所となった。最終日の授業見学に参加された学校担任の先生や寄付者の方からは、「普段の教室で見せる顔とは違い、明るい表情だった」「熱心に取り組んでいる姿に感動した」といった感想をいただいた。

今年度もクラス実施のために多くの方にお支えいただき感謝している（8月末現在の寄付総額約31万円）。9月から子どもたちは「はっぴー・すくーる」に集う。これからも子どもたちの継続的な支援が必要だ。また、今後も「外国にルーツを持つ子

ども」は増え、子どもたちへの支援の重要性はますます増していくだろう。これからも子どもたちの将来のためのご支援を心よりお願いしたい。（日本語コース主任講師・福井武司）

子育て中のママと子どもが集い ちゃいやあらんど

まず、4月春休み中に開催した子ども向け裁縫教室。下準備がほぼされていた状態のミニバックですが、アイロンで各々好みの絵柄の布を張り付けました。自らの手で作ったオリジナルバッグで翌日、お出かけしていました。

同じ子育て世代「ママの日本語クラス」との交流企画。幼稚園生活で欠かさない情報を交換したり、バザーの相談もし合いました。年間を通じて企画を立



トンネルで大騒ぎ！

ていて、後半の食の企画も楽しみです。

次に、以前好評だった企画で、耳鼻咽喉科の風間先生に耳と鼻の病気についてお聞きしました。質問には資料を交えてお答えくださり、また、直接症状に関係ない話も楽しくしてくださり、満足度の高い企画でした。

暑い夏は、ガレージで水遊び、流しソーメン、まるごとスイカで作ったフルーツポンチ、家ではなかなかできないこともしました。

初めての企画「てらこやちゃいや」は、小学生のための夏休みの宿題応援企画でした。2学期開始直前には「お化けをつくろう」も開催。紙と文房具で子どもたちは自由におばけづくりをしました。大人もつい参加。最後はお化け屋敷をつくらうと暗幕でトンネルを作ったのですが、トンネルだけで大騒ぎして終了しました。

これらの企画に、多くの方たちのご理解とご協力をいただいたことを感謝します。これからも親子とも多くの経験ができる企画を考えていきたいと思ひます。

（ちゃいやあらんど 木村 文子）

憲法出前プログラム

2013年から始めた憲法出前プログラムは今年で5年目に入った。最近では部として授業をさせていただける場所・機会探しに取り組んでいる。

今年の憲法記念日には安倍首相から新たな改憲案が飛び出したりし、政治の場では改憲への動きがどんどん進められているが、人々の間でどれだけ自分ごととして受け止められているかは今も疑問だ。普段憲法について考えたり、話し合ったりする機会のない方々に憲法を身近なものとして考えてもらいたい、という私たちの思いはますます強まっている。

そんな私たちの願いが叶い、この夏、私たちは神戸栄光教会、御影クリスチャンセンター、尼崎教会、熊本YWCAと4カ所で出前の機会をいただいた。尼崎教会、熊本YWCAでは嬉しいことに、例年の8月6日「平和の集い」に呼んでいただいたのだった。

参加者の顔ぶれにより授業の様相は変わるが、どこでも共通して言われるのは、「皆で話し合うのは楽しい」ということだ。熊本YWCAメンバーからは、「自分たちもやれそうだ」という感想をいただいた。これこそが



『主が共にいませばー G.M. フィーリー宣教師が日本の教会に残したものー』（西垣二一監修。日本基督教団兵庫教区フィーリー記念室委員会編）と題して本が出版された。

フィーリー宣教師は多くの学校や教会で特に若者と女性への献身的な働きをされた。また、1952年～1972年まで神戸YWCAで



左から2人目がG.M. フィーリーさん

幹部委員、教育部委員長として活動を担われた。

懐かしい先輩の働きに感謝！

（宮田 泰子）



『平和の橋 一人ひとりが大切にされる社会を願って』
寺沢 京子 著

(竹林館、2017)

神戸YWCA 平和活動部メンバーで、Peace Bridge グループ代表の寺沢京子さんによる3冊目の著書。「平和」や「言葉」をテーマに、寺沢さんが近年新聞や雑誌に書かれたエッセイや評論がまとめられている。軽やかな言葉の綴りの中に、平和への熱い思いがうかがえる。読むと、自分も身近なところから少しずつ動き出そうと勇気づけられる一冊。
(山本 かえ子)

私たち平和活動部の願ってきたことだ。全国津々浦々で、楽しく憲法について話し合う集まりが無数にできてほしい。
(平和活動部)

❖「This is a オスプレイ」
上映会

～私たち無関心でいいの？～

8月18日(金) 18時より、本館チャペルにて、映画「This is a オスプレイ」の上映と語り合いの時をもった(参加者29人)。初めて参加された方が感想を寄せてくださった。

オスプレイ、何のために何故日本にやってくるの？自分の頭上に毎日飛ぶと想像してみよう。他人事でなく。

私たち一般市民には日米地位協定を直接変えることはできない。私たちにできること、それは私たちが目を覚ますこと。そんなことを教えられた。

映画とその後の語り合いは素晴らしかった。小さくてもそれぞれの「思い」と「知識」を持ち合って繋がっていけば、この社会に希望が見えてくるかも。
(西野 陽子)

「お掃除し隊」に参加して

原発事故で被災された福島の方たちを支援する活動で、私にでも出来ることはないかとYWCAに連絡したら、西明石のセカンドハウスを紹介していただきました。

保養に来られた皆さまが帰られた後の掃除、シーツや毛布をコインランドリーに持って行ってのお洗濯、次回来られる方の人数を確認してお布団の準備などのお手伝いをしています。また、洗濯物の乾燥待ち時間には、いろいろなYWCAの活動

神戸YWCA 被災者支援プロジェクト

について聞かせていただき、共感しています。始めた頃は、夏、冬とも同じシーツでしたが、夏はひんやり、冬はもこもこシーツになるなど、いろいろな方の協力によって、備品も増え、居心地よいセカンドハウスになっていきました。

海に近いセカンドハウスで、福島の皆さまが少しでもくつろげることを願っています。保養の後、関西に移住された方もあり、少しでもお手伝いできて、よかったと心から感謝しています。皆さんの「お掃除し隊」へのご参加、お待ちしております。

(岩崎 睦代)

神戸YWCA まごの手 20周年記念講演

「あした死んでも『後悔』しないために、今やっておきたいこと」

在宅ホスピスの草分け的存在である 関本雅子さんをお迎えして、記念講演会を開催します。

日時：11月26日(日)
13:30～16:30

場所：神戸YWCA 会館5階チャペル
講師：関本 雅子さん(在宅ホスピス医師)

*要事前申し込み
(神戸YWCAへご連絡ください)

著書紹介

『あした死んでも「後悔」しないために、今やっておきたいこと』
(PHP 研究所、2014)

関本さんが、これまで経験した2,300人以上の方とのお別れをもとに、人生の終末期をどう生きるのかを考える手がかりを示唆した本です。一般の読者向けに易しく書かれています。

カフェもぐもぐ若年性認知症フォーラム 2017

- 神戸YWCA「若年性認知症の人と仲間たちのカフェもぐもぐ」活動報告
- 若年性認知症についての研究発表(関西学院大学人間福祉学部生)
- 映画「徘徊 ママリン 87歳の夏」上映

日時：10月28日(土) 13:30～16:30

場所：神戸YWCA 会館5階チャペル

参加費：500円

申込締切：10月20日(金)



私が、YWCAで活動したい！
そう思うのは、YWCAでの活動の中で、人との出会いに魅力を感じているからです。芯のある柔らかさが、ここにはありません。いろいろな価値観を受け止めながら、ぶれない強さを身につけ、活かしていきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いたします！
(福田 百)

私が神戸YWCAと関わるきっかけとなったのは、面白い科学クラブの活動です。ESD.. 持続可能な開発のための教育)という、貧困やエネルギー問題、平和など、あらゆる課題に立ち向かう、持続可能な社会づくりの現場に触れ、人々が新しいライフスタイルを生み出す仕組みがあります。そこに、面白い科学クラブの活動が掲載されているのを知り、初めて参加してから2年。ボランティアとして、関わらせていただいています。そして、今、神戸YWCAのユース会員として、日本YWCA主催の日韓ユース・カンファレンスの実行委員を務めることになりました。ありがとうございます！

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA 本館：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
神戸YWCA 分室：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

●わいわい科学クラブ (小学生対象)

10月21日(土)

「まわる!はねる!かんたんクラフト5つ作りあそぼう」
①10時～11時15分②11時30分～12時45分
③14時～15時15分

11月11日(土)

「○○味のべっこうあめをたのしもう」
①10時～11時30分②13時～14時30分

*申し込み必要

参加費 各1回200円

●ちやいやあらんど

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
10月18日(水)、11月1日(水)、11月15日(水)
11時～15時

参加費 100円(1回)

●地域のお店くるくる

10月19日(木)13時～15時30分

●カフェもぐもぐ

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
10月7日(土)10時～15時 *11月はなし
参加費 300円

*昼食はカレーを作って食べます。
(要予約、別途食材料代が必要)

分室

●女性の視点から平和を考える

—無関心は無責任!—

10月21日(土)13時～15時
松元ヒロの絵本『憲法くん』の朗読、「シニア世代の願い—戦争を体験して」「ヤング世代の思い」ほか。
参加費 500円

●ボランティア説明会

10月21日(土)16時～17時
11/23のバザーに向けて説明会を開催。ボランティアが初めての方も、経験のある方も大歓迎!

●Taste the World (世界の料理を食べよう)

10月21日(土)18時～20時
「日本語教師が語る『UAEで暮らして』」
ゲスト 江口清子さん(元神戸YWCA会員)
参加費 2,000円(アラブ料理の食事付き)中・高・大学生1,000円、小学生以下無料

●神戸YWCAクリスマス

12月2日(土)13時～15時
メッセージ 山崎道子牧師(日本基督教団豊中教会)

●神戸市民クリスマス

12月15日(金)夕刻～
場所 日本キリスト教団神戸栄光教会

本館

本館

本館

本館

本館

Welcome

神戸 YWCA バザー 2017

11月23日(木)祝
11:00～14:30

神戸YWCA本館

入場無料!

Fun!

井上 早苗 岩村 義雄 上 紀子
加納 花枝 雀部 明子
島本 健二 中村 昭子
平木 貴美子 丸山 春子
水野 雄二 (敬称略)

■ 訃報

東山千代さんが、5月17日に101歳で、天に召されました。神戸YWCAで会員として長きにわたり重要な働きをしてくださいました。

■ 編集後記

今の日本は北朝鮮の行動に巻き込まれ、戦争への道を勇ましく歩もうとしているように見える。安倍政権に抗う声を上げ続けたいと思う昨今である。(S.T.)

■ 学院だより

日本語コースでは今夏も「勉強に役立つ日本語クラス」「夏のはっぴー・さばーと」「新規JET日本語教育研修講座」「シリア夏季クラス」「夏季日本語集中講座」等を通して、地域に暮らす外国人に必要な日本語の支援を届けることができた。

9月4日からレギュラークラス(初級・中級)が開講。同月22日には3カ月間の公共職業訓練「日本語・就業力スキルアップコース」がスタートした。(原田 雅子)

■ 保育園だより

この夏で、心も、体も大きくなってきた子どもたち。自分の意志ははっきりしてきたので、お友だちとぶつかることも増えてきました。まずは自分の気持ちを出すという段階ですので、これから学んでいくことも多いでしょう。

1・2歳児とはいえ、どこからともなく、仲裁をしようとする子どもも出現。かえってややこしいことにはなるのですが、喜ばしい行動です。大人が傍にいてだけで自分であるの考えます。できる限り大人の口出しは控えて、じっと見守っているところです。(園長・梅川 玲子)

■ 運営委員会報告

(7月)【報告】理事会▶3市YWCA合同合宿▶ファンド実行委▶100周年実行委▶平和活動部▶その他【議事】ボランティア説明会▶3市YWCA合同合宿の課題をうけて▶その他(9月)【報告】理事会▶ボラ説明会▶平和活動部▶ファンド実行委▶100周年実行委▶国際相互支援部【議事】ファンド活動の役割分担▶大阪YWCA100周年事業協賛および協働の件▶神戸YWCA組織改革 (書記・山本かえ子)

■ 理事会報告

9月9日(土)第3回理事会開催。100周年へ向けて神戸YWCA改革のために意見交換、また冬期クリスマス募金の件を協議した。他、財務状況確認、まごの手報告、100周年記念事業準備委員会報告等がなされた。(総幹事・西本 玲子)

■ 賛助員

株式会社サンビルダー

2017年度日本語教育研修会

『作文教育について』いきいきとした作文を書くために

11月19日(日)13:30～15:30(講演会後、茶話会)

神戸YWCA会館5階チャペル

講師:サンキュータツオさん

(芸人・一橋大学非常勤講師)

参加費:2,000円(一般)/1,000円(同窓会員)

申込締切:11月10日(金)

定員:60人 *メールかFAXでお申し込みください。

主催:神戸YWCA学院同窓会/
神戸YWCA学院

申込書はHPからダウンロード→





ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます

神戸且月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

いーく に みく に
0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>